

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム2026年度年会

大会長 小島 肇（山口東京理科大学）

日 時：2026年5月15日（金） 9:45～16:05

場 所：東京大学 山上会館

開催タイトル：NAMsの可能性と未来に向けて

9:45～9:50

開会の辞

小島 肇（山口東京理科大学）

9:50～9:55

コンソーシアム
代表挨拶

曾根 秀子（横浜薬科大学）

9:55～10:25

講演 1

加藤 毅（群馬大学）

AIを用いた創薬開発

10:25～10:55

講演 2

石田 誠一（崇城大学）

MPSを用いた創薬開発

10:55～11:25

講演 3

中尾 洋一（早稲田大学）

StemPanToxを用いた創薬開発

11:30～12:15

一般演題

ポスター発表

12:15～13:15

昼食

シンポジウム

種々の規制下におけるNAMsの可能性

座長：小島 肇（山口東京理科大学）、曾根 秀子（横浜薬科大学）

13:15～13:45

演題①

医薬品 荒木 徹朗 先生（日本製薬工業協会）

13:45～14:15

演題②

医薬品と医薬部外品 星野 裕紀子 先生（医薬品医療機器総合機構）

14:15～14:45

演題③

化学物質 平林 容子 先生（国立医薬品食品衛生研究所）

14:45～15:15

演題④

食品 広瀬 明彦 先生（化学物質評価研究機構）

15:15～16:00

パネルディスカッション

16:00～16:05

閉会の辞

山下 潤（東京大学医学系研究科）